

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C	令和6年1月11日	
横断的な課題	ハケ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり					諏訪地域振興局	
地域重点政策	ハケ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり						
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	ハケ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした総合的な振興 方策の検討・展開				電話	0266-57-2901(内線2316)	
					E-mail	suwachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	ハケ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域振興の推進のため、地域づくり団体等の情報共有や意見交換により、団体間の連携や新たな活動の促進を図る。					
	現状と課題	諏訪地域の恵まれた自然環境や縄文時代から続く誇り高い歴史文化を活かした地域振興を進めるためには、地域に根差し、自由な発想を持つ民間団体の活動促進や連携が求められている。これまで2年間実施してきたハケ岳西麓地域の振興策について意見交換を行うタウンミーティングを発展させ、地域の関心が高い「縄文」を切り口に、地域づくりについて学び、意見交換を行うタウンミーティングを開催する。					
	内容 (変更後の内容)	1「地域づくり×縄文ミーティング 第1回」の開催 (1)概要 縄文や地域づくりに関する学びの回として「縄文」に関する取組を行っている地域づくり団体や、これから地域づくりに取り組みたい一般の方とともに、「縄文」を活かし人を呼ぶ・人が来る地域づくり」をテーマに講演やパネルディスカッションを行う。 (2)日程及び場所 11月21日(火)・富士見町コミュニティプラザ (3)内容 ①外部講師による講演 ・講師:善井靖 ・テーマ:人をひきつける地域づくりとは ②パネルディスカッション ・縄文文化を取り入れた地域活動に取り組む地域づくり団体によるパネルディスカッション。 2「地域づくり×縄文ミーティング 第2回」の開催 (1)概要 第1回で得た情報を活かし、今後の地域振興に向けて意見交換を行い新たな取組を生み出す。 (2)日程及び場所 11月27日(月)・富士見町コミュニティプラザ (3)内容 ワークショップ ・諏訪地域の資源の棚卸について					
	事業期間	令和5年9月 ～ 令和6年1月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	タウンミーティングの実施	講師謝金	137,200	講師謝金:100,000円 パネリスト:3,100×3H×4名			
	〃	講師費用弁償	29,097	東京都～富士見町(富士見) 2人×2回 等			
	〃	チラシ代	71,500	チラシ@143円×500枚			
	〃	用紙代	4,994	案内送付@1.1円×200人×5枚 会議資料@1.1円×60人×59枚			
	〃	コピー代	5,494	案内送付@1.21円×200人×5枚 会議資料@1.21円×60人×59枚			
合 計		248,285					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	「地域づくり×縄文ミーティング」の参加人数		30人	74人	● 達成		
	参加者満足度(アンケートにて5段階評価)		平均3以上	4.36	○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	今年度は、学んだことを実践に繋げられるよう、学びの回と具体的な方策検討の回の計2回の連続講座として開催した。第1回は専門家による「人をひきつける地域づくりとは」を題材とした講演や、「縄文」をテーマに地域活動に取り組む団体の事例発表及びパネルディスカッションを通じ、地域資源を活用した地域活性化の考え方について学んだ。第2回は第1回で学んだ内容を活かし、地域資源の棚卸から今後の取組を検討するグループワークを行い、今後の活動を考えるきっかけ作りを行った。参加者アンケートの結果から「新たな気づきがあった」、「視点が新たに増えた」、「SWOT分析を今後の活動で活かしたい」など今後の地域づくりにつながる感想が多数あり、参加者が地域づくりを実践するためのヒントを得る機会とすることができた。						
今後の方向性	地域振興に資するアイデアを地域づくり団体間等で共有し、多様な分野でそれぞれの地域づくり団体が連携しながら、地域振興策を推進していくため、適切な支援を行っていく。						